



共同研究

「『中津 廣池千九郎研究講座』の
充実化に関する研究」

道徳科学研究所 主任研究員
伝統文化研究プロジェクトリーダー

橋本 富太郎
はしもと とみたろう

道徳科学研究所において現在進行中の共同研究の一つ、『中津 廣池千九郎研究講座』の充実化に関する研究を紹介いたします。当研究は、「モラロジー教育活動および生涯学習活動に資する」という共同研究の募集要件に呼応して、令和三年度に発足し、当該講座の開講を経て、今年で二年目です。現メンバーは、講師の江島頭一・橋本富太郎と九州ブロック事務長の平野和幸です。

より一貫性のある講座をめざす

一年目の令和三年度は、この三名に特別講師の所功先生を加え、対面およびオンラインの研究会を計二度開催し、十月の講座本番に臨みました。

講座のテーマが廣池博士の「孝」であったことから、研究会では、廣池博士自身による「孝」の研究と実践に関する内容をはじめ、日本の孝行の歴史や近年の国民意識、

最新の研究動向などを検討しました。

また講師陣がそろって主催者側と研究会を重ねることにより、講座の趣旨が各講義に浸透し、それぞれの担当項目が相互に関連性を深めることとなり、講座全体の一貫性が高まるなどの効果がありました。

昨年十月の講座は感染症対策のためオンラインでの開講となりましたが、参加者は一六〇名を数え、うち一三三名から非常に充実したレポートが提出されました。その内容は、共同研究の成果と課題の検証に役立たせていただいています。

オンライン講座には、さまざまな事情で中津まで足を運ぶことができない人や、多忙なため三日間の時間を確保できない人も受講できるという利点がありました。ただやはり、中津において講座を行うことには、廣池博士ゆかりの地に直接訪れつつ学びを深められるという重要な意味があります。

今年度は事跡巡りに主眼を置く

そこで令和四年度は、もう一度「孝」をテーマに、対面で講座を開講し、昨年度の成果に加え、事跡巡りの効果を最大化させることを主眼として共同研究を継続することになりました。

今年度の講座は、麗澤館跡や柞原^{ゆすはら}八幡宮など大分地方における廣池博士ゆかりの地を巡ることを予定しており、またそれをカリキュラムの中心に位置づけています。

共同研究では、これまでの事跡巡りで蓄積してきた内容を、研究と教育の視点から再構築し、講義内容と密接に接続させることを期して、引き続き調査・研究を進めてまいります。

※「中津 廣池千九郎研究講座」は十一月四日(金)～六日(日)に開講予定。